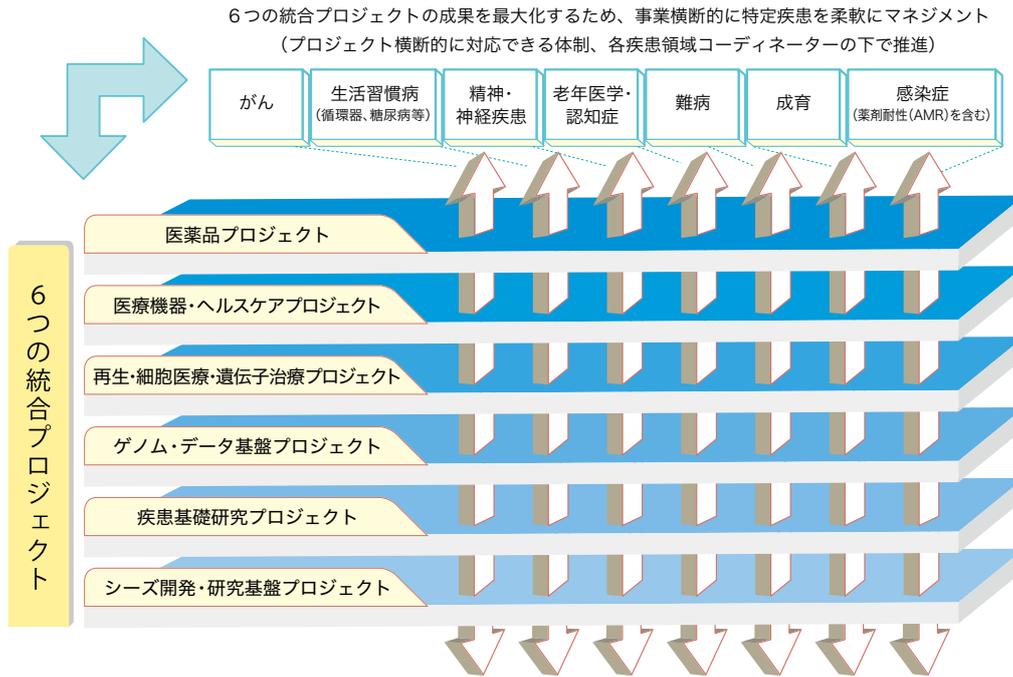


AMEDが推進する研究開発

● 6つの統合プロジェクト [詳細は P.8へ](#)

AMEDは、国が定める「第2期医療分野研究開発推進計画」に基づき、モダリティ（創薬手法や治療手段等）を軸とした6つの「統合プロジェクト」を中心に、医療分野の基礎から実用化までの研究開発を一元的に推進しています。また、日本における社会課題として主要な7疾患領域（がん、生活習慣病〈循環器、糖尿病等〉、精神・神経疾患、老年医学・認知症、難病、成育、感染症〈薬剤耐性を含む〉）に関しても、豊富な経験を有する疾患領域コーディネーター（DC）を配置して十分な配慮をしつつ、事業運営に努めています。



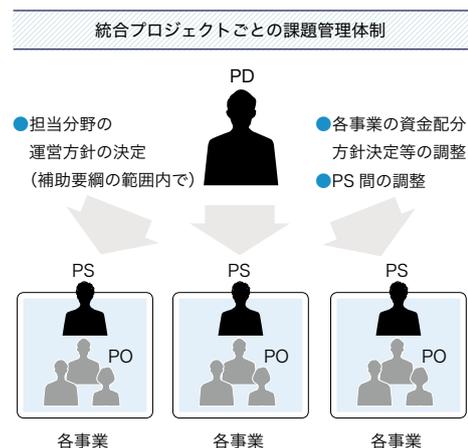
● 基金等を活用した研究開発の促進等 [詳細は P.11へ](#)

特に先進的で重要な革新的技術の創出や中長期的な研究開発の促進等のため、基金等の枠組みを活用した研究開発も実施しています。

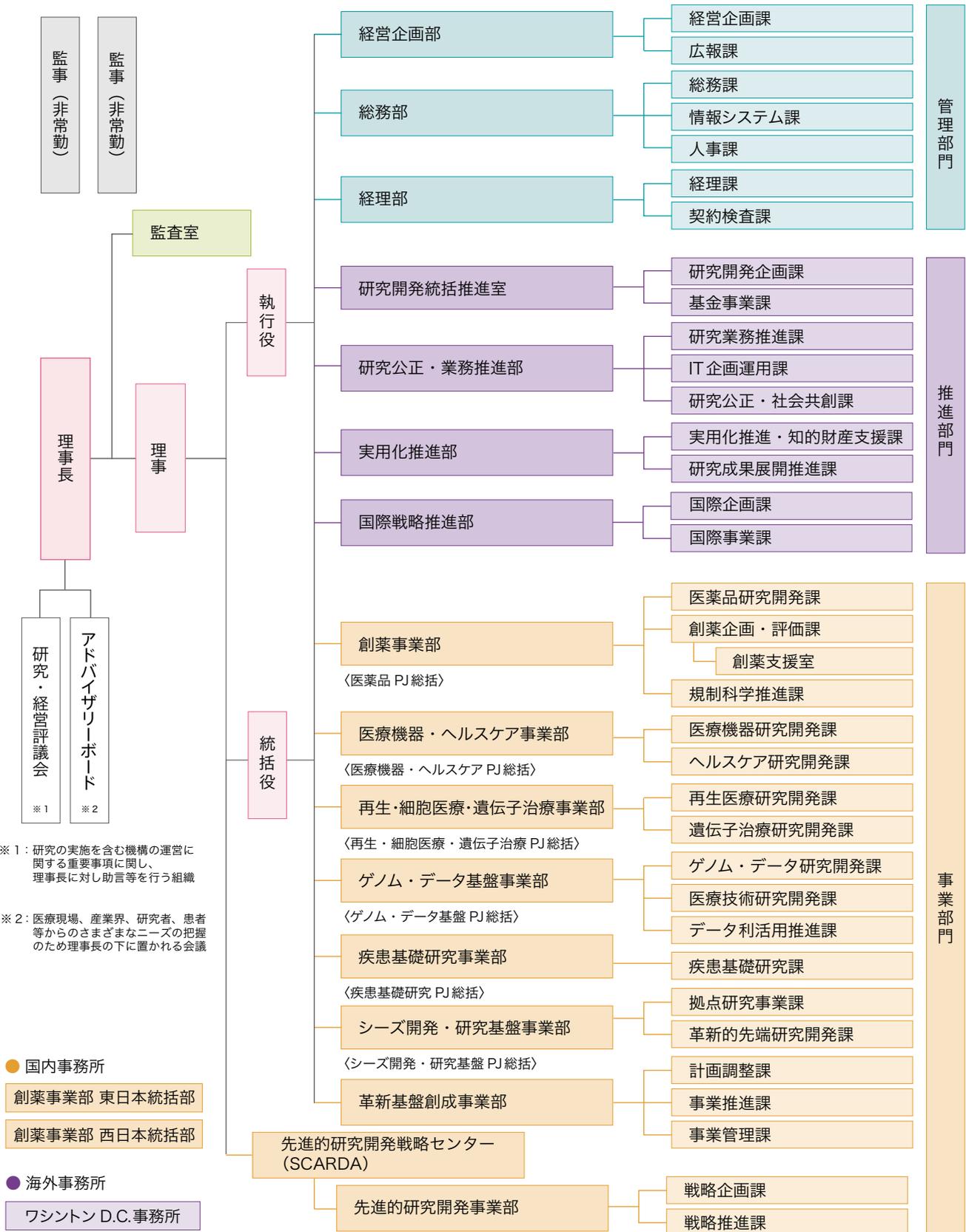
- 医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE)
- 新型コロナウイルスワクチンの開発支援
- ムーンショット型研究開発制度等
- ワクチン開発・生産体制強化戦略関連事業
- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 (ASPIRE)

● プロジェクトのマネジメント体制

事業の実施に当たっては、大学、研究機関、企業等の研究者、あるいは機関等から広く提案を募集し、適切に評価・選考を行い、実施者を決定します。また、研究開発課題の評価および運営は、その研究分野に関して高い見識を有する専門家を「プログラムディレクター (PD)」「プログラムスーパーバイザー (PS)」「プログラムオフィサー (PO)」として選任し、PD、PS、PO は協力して重点分野全体の課題を把握し、担当する分野（事業）の運営や分野間の協力等の調整を行います。AMEDはこうした体制の下、一貫したマネジメントで研究開発を推進しています。



組織図



※1：研究の実施を含む機構の運営に関する重要事項に関し、理事長に対し助言等を行う組織

※2：医療現場、産業界、研究者、患者等からのさまざまなニーズの把握のため理事長の下に置かれる会議

● 国内事務所

創業事業部 東日本統括部

創業事業部 西日本統括部

● 海外事務所

ワシントンD.C.事務所



ひとめでわかる！AMED

AMEDが推進する医療研究開発は多岐にわたるため、AMEDはどんな組織でどんなことをやっているのか、全体像をひとめでわかるよう、データを使ってご紹介します！

設立

2015年
(平成27年)
4月

2023年度現在で
設立8年目です。

職員数

670名

※2023年1月1日現在
※全体職員数(役員含む)

評価・運営体制

プログラム ディレクター	PD	6名
プログラム スーパーバイザー	PS	約130名
プログラム オフィサー	PO	約380名

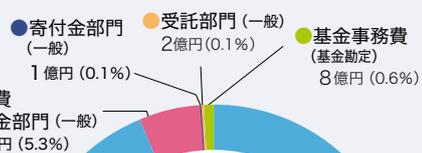
上記人材を配置し、
研究開発課題の評価及び
業務運営を進めています。

※2023年3月時点

支出予算の内訳と事業

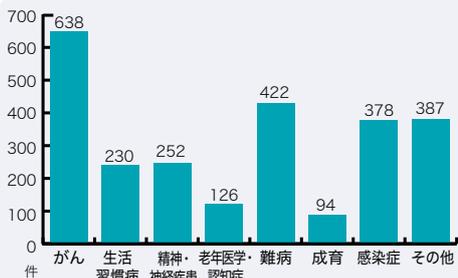


※2023年度の支出予算(2023年3月時点)
※基金等の収入は2022年度に計上されていることから収入予算との差額が発生
※上記経費に加え、内閣府に計上される「科学技術イノベーション創造推進費(555億円)」のうち、175億円を医療分野の研究開発関連の調整費として充当される見込



※2023年度の収入予算
※2022年度以前の基金等に係る収入は当該年度に計上
※上記経費に加え、内閣府に計上される「科学技術イノベーション創造推進費(555億円)」のうち、175億円を医療分野の研究開発関連の調整費として充当される見込
※当初予算のうち「競争的資金事務費」を除く

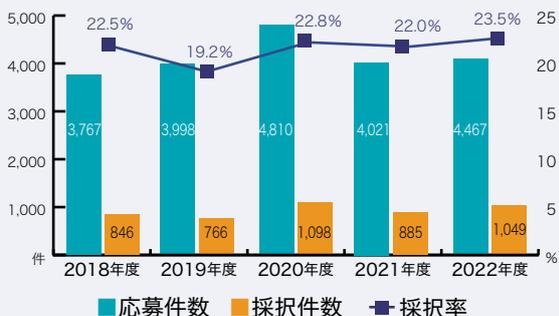
研究開発課題



※研究開発課題数は、新規並びに継続分を含む2022年度の実施課題数
 ※研究課題管理システム(AMS)データ(2023年6月時点)をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創生事業(CICLE)を除く
 ※「その他」には、疾患を特定できない基礎的な研究開発課題や、研究基盤・創業基盤整備等の研究開発課題などが含まれる

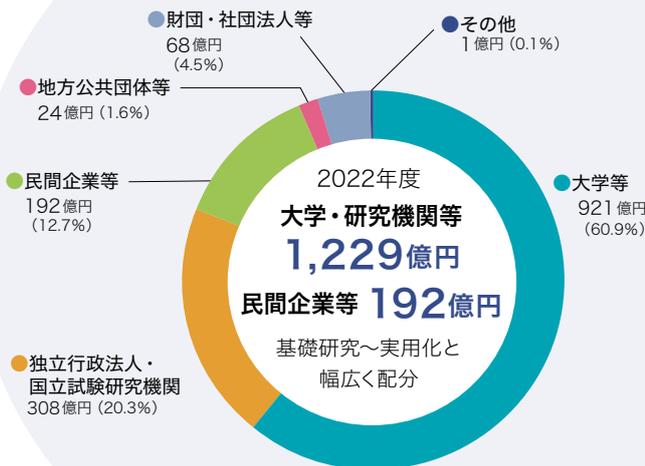
2022年度
 基礎から実用化まで
2,527件の
 研究開発課題を
 実施しました。

公募に対する 応募件数・採択件数・採択率



※公募に対するAMED公開情報等(2023年8月時点)をもとに、年度ごとに集計
 ※採択率は、各年度の全応募件数に対する全採択件数の割合

研究機関分類別の 研究開発費配分状況



※AMSデータ(2023年6月時点)をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創生事業(CICLE)を除く
 ※研究開発費は、委託事業または補助事業における契約・交付金額(間接費等を含む年度末の最終契約額)で研究代表者のもとで研究開発の一部を他の研究機関に分担又は再委託されたものを含めた2022年度の研究開発費の総額

2022年度
 応募件数 **4,467件**
 採択件数 **1,049件**
 採択率 **23.5%**

バイ・ドール報告

2022年度
 研究機関からの知財報告
 (発明等の創出・出願・権利化の報告)は
2,499件
 ありました。

※研究開始年度が2022年度である課題の研究代表者延べ人数
 ※年齢は生年月日をもとに、研究開始年度当初の年齢から年齢階級別に集計
 ※e-Rad(府省共通研究開発管理システム)データ(2023年6月時点)をもとに集計。ただし、生年月日が不明の者は除く

新規課題 研究代表者年齢層

